

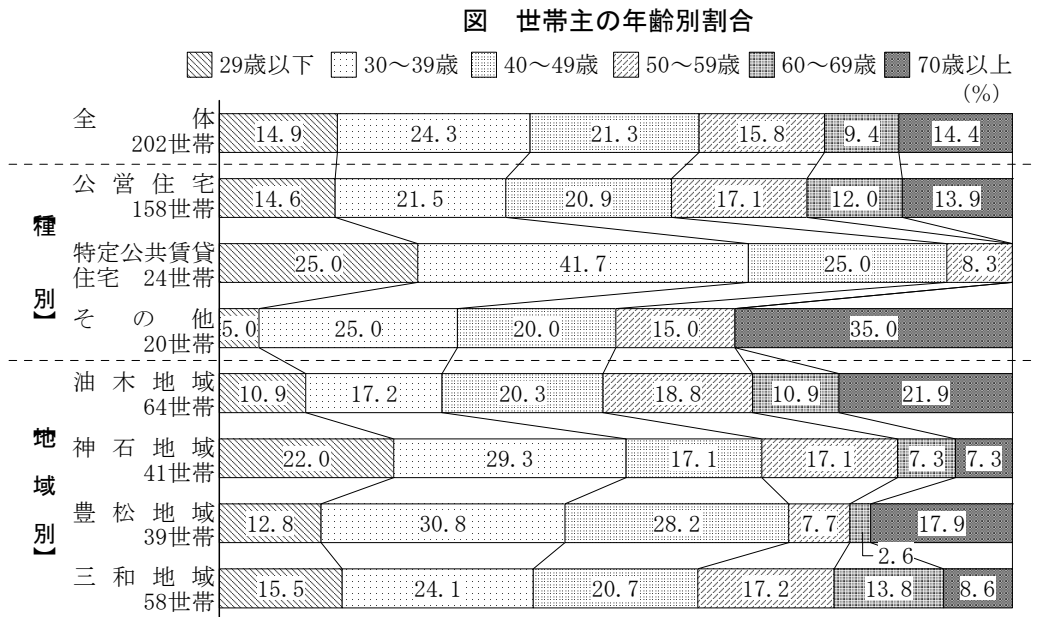
(4) 町営住宅入居世帯の状況

ア 世帯主の年齢

世帯主の年齢別割合は、30～39歳が24.3%で最も高く、次いで40～49歳21.3%、50～59歳15.8%、29歳以下14.9%などとなっており、若い世代の割合が高い。60歳以上の割合は23.8%で、約1/4を占めている。

種別にみると、公営住宅、特定公共賃貸住宅は若い世代の割合が高く、その他の住宅では高齢者の割合が高い。

地域別にみると、油木地域で高齢者の割合が他地域に比べて高くなっている。



注-1：町営住宅入居世帯の状況は、平成24年6月末時点の入居世帯について分析した。

注-2：町営住宅の入居世帯については、世帯主年齢が60歳以上を「高齢」とした。（一般的に高齢者は65歳以上をいうが、ここでは、公営住宅、サービス付き高齢者向け住宅の入居対象者の年齢基準（60歳）を参考に60歳以上とした。）

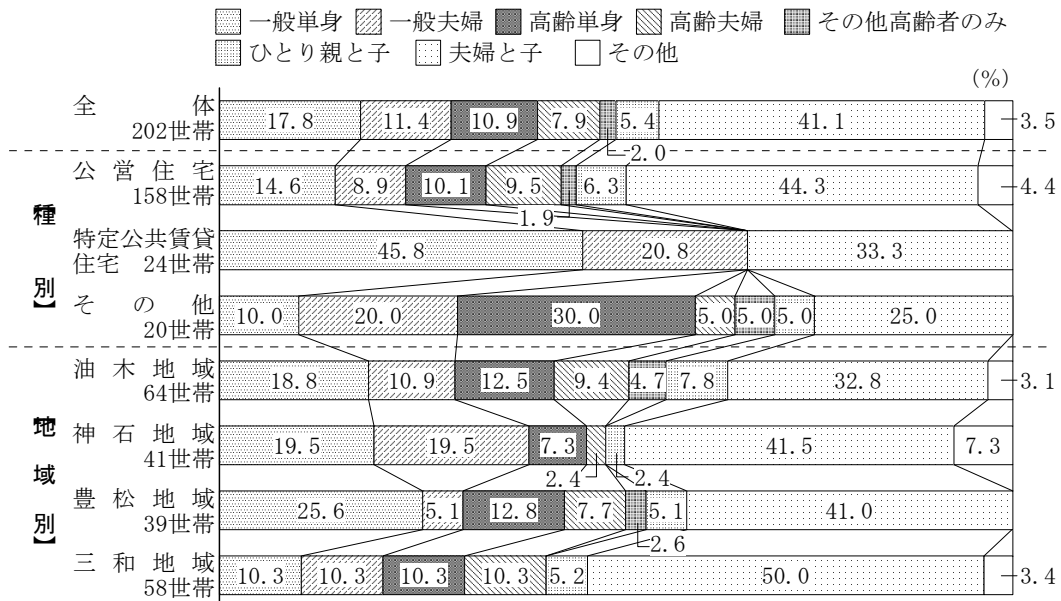
## イ 家族類型

家族類型別割合は、夫婦と子が41.1%で最も高く、次いで一般単身17.8%、一般夫婦11.4%などとなっている。高齢単身、高齢夫婦、その他高齢者のみを合わせた高齢者世帯の割合は20.8%で、約2割を占める。

種別にみると、公営住宅では夫婦と子、特定公共賃貸住宅では一般単身、その他の住宅では高齢単身の割合がそれぞれ最も高い。

地域別にみると、各地域で夫婦と子の割合が最も高くなっている。油木地域では高齢者世帯、神石地域では一般夫婦、豊松地域では一般単身の割合が、他地域に比べて高くなっている。

図 家族類型別割合



## ウ 世帯人数

世帯人数別割合は、1人が28.7%、2人25.2%、3人15.8%、4人19.3%、5人以上10.9%となっており、1～2人の少人数世帯の割合が半数を超えている。

種別にみると、特定公共賃貸住宅、その他の住宅で1人または2人の割合が高くなっている。地域別にみると、各地域とも1人または2人の割合が高い。

図 世帯人数別割合

